

| 科目名 | 人間と科学Ⅱ(社会学) | 英語科目名 | Cultural Science Ⅱ (Sociology) |
|---|--------------------|------------------|--------------------------------|
| 開講年度・学期 | 平成 27 年度・後期 | 対象学科・専攻・学年 | 5 年全学科 |
| 授業形態 | 講義 | 必修 or 選択 | 選択 |
| 単位数 | 1 単位 | 単位種類 | 履修単位 |
| 担当教員 | 種村剛 | 居室(もしくは所属) | 非常勤講師控え室(管理棟 1F) |
| 電話 | 0285-20-2100 | E-mail | tueno@oyama-ct.ac.jp |
| 授業の到達目標 | 授業到達目標との対応 | | |
| | 小山高専の教育方針 | 学習・教育到達目標(JABEE) | JABEE 基準 |
| ①メディア論および社会情報学の基礎概念を説明できる。 | ① | D | b |
| ②情報化社会の問題を説明できる。 | ① | D | b |
| | | | |
| 各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法 | | | |
| 上記 2 点について、中間試験と定期試験、および授業中の発問に対する口頭の解答および板書による解答により総合的に評価し、60 パーセント以上の成績で達成とする。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 前期後期それぞれの中間試験および定期試験 90%、授業中の発問に対する口頭の解答 10% | | | |
| 授業内容 | | | |
| 1) ガイダンス 2) 情報社会の基礎概念を理解する：メディアとコミュニケーション 3) 情報社会の基礎概念を理解する：記号と情報 4) 情報社会の歴史とメディアの変化を理解する：1800 年から 1940 年 5) 情報社会の歴史とメディアの変化を理解する：1940 年から 1990 年 6) 情報社会の二類型：ハイパー産業化とポスト産業化 7) 情報社会の二類型：置き換え可能性の増大 中間試験 8) 情報技術が変える社会のしくみ：ネットワーク組織と働き方 9) 情報技術が変える社会のしくみ：流通を変える技術 10) 情報技術が変える社会のしくみ：日本のコンテンツ文化 1 11) 情報技術が変える社会のしくみ：日本のコンテンツ文化 2 12) 情報技術が変える社会のしくみ：70 年代科学のメディア表象 13) 情報技術が変える社会のしくみ：監視カメラとプライバシー 14) まとめと総括 定期試験 | | | |
| キーワード | 情報 情報社会 メディア | | |
| 参考書 | 講義中に適宜紹介する | | |
| カリキュラム中の位置づけ | | | |
| 前年度までの関連科目 | 政治・経済・国語・歴史・哲学・歴史学 | | |
| 現学年の関連科目 | 人間と科学Ⅰ／Ⅱ | | |
| 次年度以降の関連科目 | | | |
| 連絡事項 | | | |
| シラバスの内容に変更があった場合には受講者に対して速やかに口頭で説明する。 | | | |
| シラバス作成年月日 | 2015 年 2 月 18 日 | | |